

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	岡山県地域住宅等整備計画
② 都道府県名	岡山県
③ 計画作成主体	岡山県
④ 計画期間	平成 28 年度 ～ 令和 2 年度
⑤ 計画の目標	「誰もが安全・安心・快適を実感できる住生活の実現」を目指す。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	岡山県において評価を実施（令和 3 年 9 月）
⑦ 事後評価の結果	<p>指 標：「県営住宅の長寿命化の実施割合」</p> <p>定 義：県営住宅の長寿命化のための電源改修工事を実施したものの割合</p> <p>評価方法：事業実績による</p> <p>結 果：従前値：70.7%（平成 28 年度）⇒目標値：100.0%（令和 2 年度） ⇒実績値：95.8%（915 戸／955 戸）（令和 2 年度末）</p> <p>結果の分析：令和元年度までは計画通りに順調に工事を実施してきたが、最終年度に入札不調により工事の実施ができなかったため、目標を下回った。</p>
⑧ 結果の公表方法	岡山県ホームページで公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	<p>今後の建替、ストック総合改善事業については、平成 22 年度に策定した岡山県営住宅長寿命化計画及び平成 23 年度に策定した岡山県住生活基本計画【改訂版】（令和 3 年度に改訂予定）に基づいて行う。</p> <p>今回達成できなかった指標目標については、次期整備計画において引き続き取り組むこととしており、目標を達成できるよう、引き続き効率的な予算執行や、適切な事業の進捗管理を実施する。</p>
⑨ その他	特になし

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	岡山県地域住宅等整備計画（防災・安全）
② 都道府県名	岡山県
③ 計画作成主体	岡山県
④ 計画期間	平成 28 年度 ～ 令和 2 年度
⑤ 計画の目標	「誰もが安全・安心・快適を実感できる住生活の実現」を目指す。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	岡山県において評価を実施（令和 3 年 9 月）
⑦ 事後評価の結果	<p>指標①：「バリアフリー化した県営住宅の割合」 定 義：バリアフリー化（高齢者・障害者対応）した県営住宅の割合 評価方法：事業実績による 結 果：従前値：15.9%（平成 28 年度）⇒目標値：16.2%（令和 2 年度） ⇒実績値：16.0%（1,088 戸／6,820 戸）（令和 2 年度末） 結果の分析：公営住宅の集約が進まなかったことなどから、目標を下回った。</p> <p>指標②：「中層耐火県営住宅の長寿命化の実施割合」 定 義：建設後 30 年以上経過した中層耐火構造の県営住宅のうち、長寿命化のためのストック総合改善事業を実施したものの割合 評価方法：事業実績による 結 果：従前値：80.9%（平成 28 年度）⇒目標値：90.0%（令和 2 年度末） ⇒実績値：87.8%（3,485 戸／3,967 戸）（令和 2 年度末） 結果の分析：財源の関係で事業実施を先延ばししたものがあため、目標を下回った。</p>
⑧ 結果の公表方法	岡山県ホームページで公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	<p>今後の建替、ストック総合改善事業については、平成 22 年度に策定した岡山県営住宅長寿命化計画及び平成 23 年度に策定した岡山県住生活基本計画【改訂版】（令和 3 年度に改訂予定）に基づいて行う。</p> <p>今回達成できなかった指標目標については、次期整備計画において引き続き取り組むこととしており、目標を達成できるよう、引き続き効率的な予算執行や、適切な事業の進捗管理を実施する。</p>
⑨ その他	特になし

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。